

# 令和3年度 学校関係者評価委員会のまとめ

## 1 学校関係者の評価

【四国中央市内小・中学校 共通項目】		関係者 評価	評価シート結果(%)				肯定 評価
A : 100～86% B : 85～71% C : 70～56% D : 55～0%達成			4	3	2	1	
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っている。	A	75	25	0	0	100
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されている。	A	38	62	0	0	100
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できている。	A	63	37	5	0	95
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力している。	A	13	75	12	0	88
5	学校関係者評価委員会は、適切に運営されている。	A	63	37	0	0	100
【学校独自の評価項目】							
6	教職員は、生徒のために意欲的に諸活動に取り組んでいる。	A	13	87	0	0	100
7	安全教育や防災教育は適切に行われている。	A	50	38	12	0	88
8	学校の施設・設備は整備されている。	A	13	75	12	0	88
9	学校は、いじめの早期発見・再発防止に積極的に取り組んでいる。	A	50	50	0	0	100
10	校訓『挑戦・実行・思いやり』の浸透は進んでいる。	A	75	25	0	0	88

## 2 意見や具体的改善策等の提言

### (1) 学習について

- ・ 宿題や準備物の忘れ物がある現状と、家庭学習の不十分さがつながっているように感じる。
- ・ ゲームやパソコン等の使用時間が長く、家庭学習が不十分である。
- ・ タブレットの家庭での利用について指導できれば改善できるのではないかと。
- ・ 生徒自らが考え企画、運営する行事等があれば、自ら考え学んでいく力を身に付けられるのではないかと。

### (2) 生活について

- ・ 家庭で学校のことを話題にして会話できている生徒が多いのはすばらしい。
- ・ 平気な顔をして日々学校に通っているが、本当はいじめ等の被害にあっている生徒がいないか心配である。いじめをなくす取組を充実させてほしい。
- ・ 学校行事以外でも地域の人たちが、生徒や教職員と関わるができる行事等があれば、学校へ出向き、生徒の様子を知ってもらうことにつながり、子どもたちを見守る力につながるのではないかと。
- ・ 防災に関する訓練や講演会を年に数回実施し、防災意識と自助意識の高揚を図るとともに、地域との連携を充実させる必要がある。

### (3) PTA 活動について

- ・ 保護者への情報伝達や協力依頼を工夫すれば、地域や家庭との関りが充実するきっかけになるのではないかと。
- ・ 学校運営協議会では、地域の役員の皆さんが真剣に生徒のためになることを考えており、北中生の成長を願っている姿が見られた。
- ・ 小・中連携を充実させ、学習面や生活面の向上につなげてはどうか。
- ・ コロナ禍で限られた活動ではあったが感染症対策をした上で、生徒のための活動をすることができた。
- ・ コミュニティ・スクールに関しては、初年度ということで手探りで活動であったが、学校運営協議会の委員が集まり、今の北中学校について有意義な話し合いができた。
- ・ 学校運営協議会での話し合いをすることはできたが、地域、保護者、生徒や教職員から意見を吸い上げ発信していくという、具体的な取組を実施することができなかった。
- ・ コミュニティ・スクールに関して生徒、保護者、地域はどの程度、理解しているのか。コミュニティ・スクールに関して、どんどん発信していき認知してもらうことから始めなければいけないのでは。

### 3 次年度の取組

#### (1) 学習について

- ・ 1人1台端末を朝学習や家庭学習で有効活用し、生徒一人一人の進度に合わせたドリル学習を充実させていく。
- ・ 生徒自らが考え、協働する学習を通して、自らの考えを広げ深める学習を充実させるために、ペア学習やグループ学習等の学習形態を工夫して、改善に取り組む。
- ・ 小テストや振り返りテストを定期的実施し、基礎・基本の定着を図る。
- ・ 家庭との連携を密にし、宿題や準備物等の忘れ物を少なくする。

#### (2) 生活について

- ・ きまりをよく守っている生徒が多い。
- ・ 生徒会活動（委員会活動）を充実させ、自治の意識を高めていく。
- ・ 1人1台端末の有効活用を図るために、ネットモラル等の意識を生徒一人一人が高められる取組を充実させる。
- ・ いじめについては、定期的なアンケートや相談活動を実施し、早期発見・早期対応につなげる。

#### (3) PTA 活動について

- ・ 現在は1年生保護者の全員評議員制をとっているが、たくさんの人数がいるからといって充実した活動ができているとは限らない。役員の決定方法や評議員の人数の精選等、組織について見直していく。
- ・ コミュニティ・スクールについては2年目を迎える。コロナ禍の中ではあるが、更に話し合いを進め、具体的な取組ができるようにしていく。
- ・ コミュニティ・スクールに関してホームページや通信の発行を通じて情報を発信していき、家庭・地域と共に歩む開かれた学校を目指していく。